

政策 1-3 公共交通の充実

施策 1-3-1 デマンド交通を核とした魅力ある交通体系の確立

(1) 住民意識調査結果

関連項目	満足度	順位	優先度	順位
魅力ある交通体系の確立	1.6%	19位/全36項目中	-4.5%	36位/全36項目中

(2) 地域経営計画書（後期計画）指標

指標	基準値	目標値
デマンド交通「たんたん号」年間利用者数	平成 21 年度 36,300 人 (平成 21 年 10 月～平成 22 年 3 月までの実績値 を用いた推計値)	平成 27 年度 42,000 人

<前期 5 カ年計画の検証を踏まえた施策展開>

- 公共交通施策は前期 5 カ年計画において、高齢者等の交通弱者といわれる方が利用しやすく、親しみの持てるシステムの研究を重ね、デマンド交通システムの構築をしました。平成 21 年 10 月より「たんたん号」の運行を開始し、半年で 18,169 人の利用者がありました。平成 22 年 4 月以降の利用者も徐々に増えてきており、町民の皆さんから好評をいただいています。このことは、住民調査結果をみても、優先度が前回調査（平成 16 年度実施）より大幅に低くなったことから、前期 5 カ年計画の取組みに、一定の評価をいただいたものと認識しています。
- よって後期計画は、このシステムを発展させていく施策展開を進めます。他の市町の連携・相互乗り入れ等の検討をしていくことで、より利便性が図れます。また、商店街の活性化や市街地と農村部の交流などにおいて、当該システムが側面的な役割を担っていくことも、システムの持続的発展を続けていくために、検討していきます。

(3) 施策を達成するための主な事務事業

事務事業名	取組概要	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
○デマンドバス運行事業						
	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、高齢者の方に多く利用されていますが、高齢者のみならず、より多くの方に利用してもらえるよう、今後も PR をしていきます。 ・また、輸送先の店舗・医療施設等と連携し、乗車場所の表示やベンチ等の設置など、輸送先にできる取組も、今後検討していきます。 	<p>← 運行継続、検証 システムを持続的に発展させるための新たな取組み検討、導入 →</p>				